

“結愛” ~ゆい~

『職員紹介』

平成28年12月から、週1回(木)午後のみ非常勤で訪問リハビリテーション室に勤務しております言語聴覚士の南 曜子と申します。普段は石和温泉病院の回復期および一般病棟で、ことばでのコミュニケーションや摂食・嚥下に関する問題を抱えている患者様に対してリハビリを行っています。訪問リハは、入院中のリハビリに比べると限られた時間での関わりとなる難しさはありますが、いつも笑顔で迎えてくださる利用者様やご家族様に力づけられています。現状では、まだ言語聴覚士の数が少ないため、必要としてくださっている方すべてのところに伺うのは難しいですが、これからも、地域の皆様の生活を支えるお手伝いができるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくごお願い致します。



『通所リハビリイベント～クレープ作り～』

少しずつ秋の気配を感じる季節となってきました。利用者様との「たまには甘いおやつが食べたいね」という会話からクレープ作りを企画しました。ホットプレートで生地を焼き、お好みに生クリーム、みかん、バナナをトッピングし、思い思いの美味しいクレープが出来上がりました。コーヒー、紅茶とともに会話も弾み楽しい時間を過ごすことが出来ました。また利用者様とスタッフが一緒に楽しめる企画を行っていききたいと思います。

(通所リハビリテーションスタッフ一同)



『言語聴覚士とは』

言語聴覚士(Speech-Language-Hearing Therapist:ST)とは、ことばによるコミュニケーションや摂食・嚥下に問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するリハビリテーション専門職です。私たちはことばによってお互いの気持ちや考えを伝え合いながら生活していますが、「話す」「聞く」「食べる」という誰もがごく自然に行っていることが、病気や事故、加齢などで不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。言語聴覚士は、このような問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施し、必要に応じて訓練を行います。また、ご本人だけでなく周囲の方々に対しても指導、助言、その他の援助を行い、豊かなコミュニケーションを支えるお手伝いをします。

